

## 巻頭言

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-05-23 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 中澤, 宏一 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/00069767">http://hdl.handle.net/2297/00069767</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



# 巻 頭 言

学校長 中澤 宏一

本校は、2019年4月に文部科学省WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業拠点校の指定を受け、以下のような取り組みを重点的に行ってまいりました。

本事業は、社会の大きな変革としてSociety5.0が訪れようとする中で、我が国の新たな社会を牽引する人材の育成が求められることをふまえ、新たな時代に向けた学びの変革を実現するとともに、文理融合を目指す高大接続改革にも寄与するものと考えております。

WWLコンソーシアムは、高度かつ多様な内容を、生徒個人の興味・関心・特性等に応じて履修できる学習プログラム開発と実践を担うことが期待されており、将来的には、すべての高校生がオンライン・オフラインで学び合うことを可能にする仕組みづくりを目指しています。

本校ではスクールミッションならびにスクールポリシーに特に身につけたい力として

- ① 情報を分析し、筋道を立てて考え、正しく判断する力
- ② 言葉を大切にし、言葉を磨き、対等に会話する力
- ③ 行動を起こし、広く社会に発信する力

を掲げ、これを支える柱として、「基礎的基本的な知識・技能を確実に身につけ、それらを基に探究的に学び、確かな学力の習得が実感できる授業」の実現に取り組み、新たな社会を牽引し、世界で活躍できるビジョンや資質・能力を有したイノベティブなグローバル人材の育成に努めてまいりました。今後も国内外の高等学校・大学・企業・国際機関等の協力を得ながら、新たな時代に向けた学びの変革を実現してまいります。

また、特定のテーマについて、より深く学ぶことを目指した高校生国際会議を連続して開催し、自らの行動変容につなげる取り組みや生徒主体のオールイングリッシュでの会議の運営にも挑戦してきました。指定最終年度を迎えた今年度は、「ミライシコウ金沢」と題し高校生国際会議と並行して高校生探究成果発表会を連携校や連携協力校のご協力をいただきながら開催し、WWLコンソーシアム構築支援事業拠点校としての役割を果たしたいと思っております。

指定年度後半から新型コロナウイルス感染症が拡大し、当初予定していた活動に対する制限が解消できない状況下での取り組みになってしまいました。そのような中でも、生徒主体の取り組みに重点を置き、持続可能な実践を合言葉に実践し、何とかここまで歩んできたというのが実情です。稚拙な研究になっていることは否めません。是非、皆様からの忌憚のないご意見やご批判を頂戴し、それを今後の道標にして研究を進めてまいります。どうぞ宜しくお願い致します。